教科等や分野名：特別支援教育

主体的に学び、自立した姿を目指した活動づくり
～現実度の高い課題設定とできる状況づくりに着目して～

刈羽村立刈羽小学校
小原 大輝（平成３０年度）

知的障害のある児童生徒の学習上の特性として、実際の生活の場面の中で生かすことが難しいことや主体的に活動に取り組む意欲が十分に育っていないことが挙げられる。そのため、実際の生活場面に即した活動を通して、必要な知識や技能等を身に付けられるように継続的、段階的に指導し、児童生徒の自信や主体的に取り組む意欲を育むこと、児童生徒の実態に応じた教育課程を編成し、自立を目指すことが重要であるとしている。

私は、これまでも児童一人一人の実態に応じた自立活動や各教科等で育成を目指す資質・能力を明確にした「各教科等を合わせた指導」の活動づくりを行い、児童の自立した姿を目指してきた。しかし、意欲を十分に引き出せず、自立した姿の実現は難しかった。

したがって、本実践では、児童の自立した姿を明確にし、児童が主体的に活動に取り組む課題設定と継続的、段階的な活動づくりを工夫し、児童が主体的に学び、自立した姿を目指した実践を行った。児童の姿を通して、支援の在り方を検討したい。